Panasonic

ポータブルDVD AUDIO／VIDEOプレーヤー

取扱説明書

品番 DVD-LA95

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

このたびは、ポータブルDVD AUDIO／VIDEOプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

保証書別添付　上手に使って上手に節電

RQT6056-S

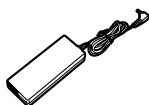
付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。かっこ内の数字は買い替え時の品番を表します。

□ **リモコン**
(品番：N2QAJC000003)

□ **リモコン用ボタン電池**
（買い替え時の品番については 10 ページをご参照ください。）

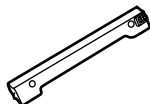
□ **電源コード**
(品番：VJA0536)

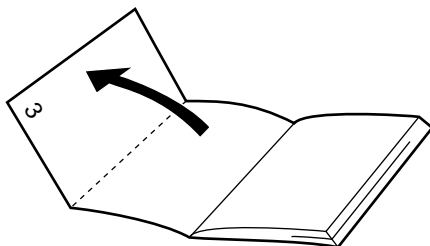
□ **AC アダプター**
(品番：N0JEEJ000001)

□ **音声／映像コード**
(品番：RJL3X001X15)

□ **アンテナコード**
(品番：N1EAGD000001)

□ **内蔵バッテリーパック**
(品番：VUADB95)
（サービスルート扱い）
（工場出荷時、本体に装着されています。）

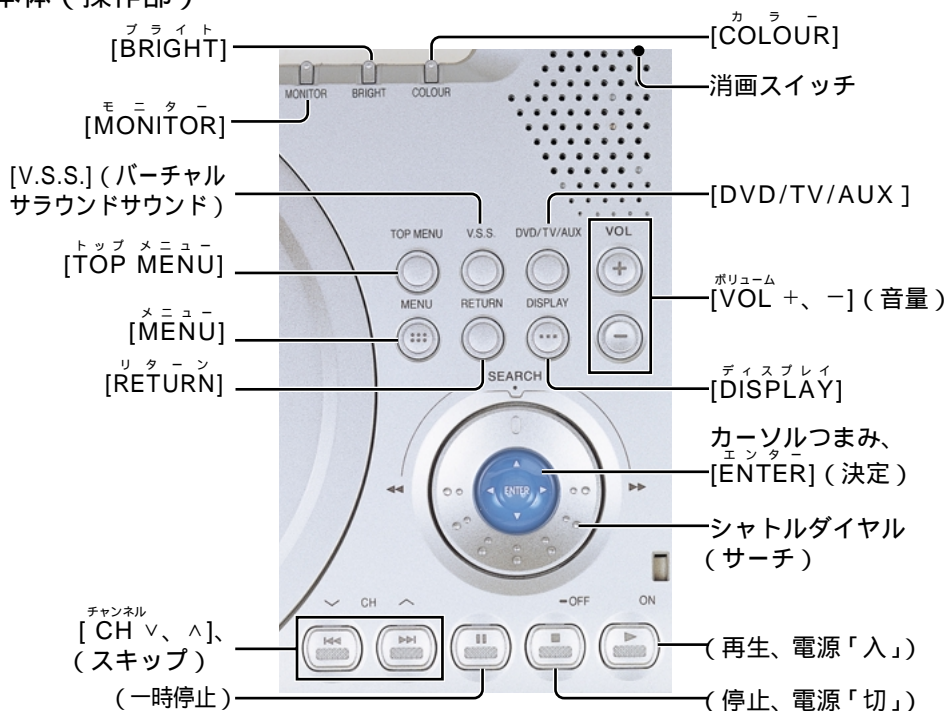
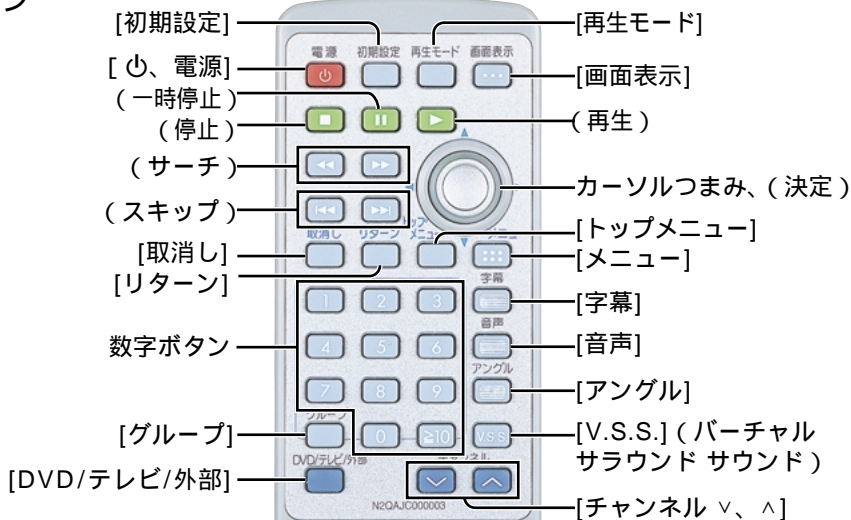
お願い

付属の電源コード／ AC アダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

本書のみかた

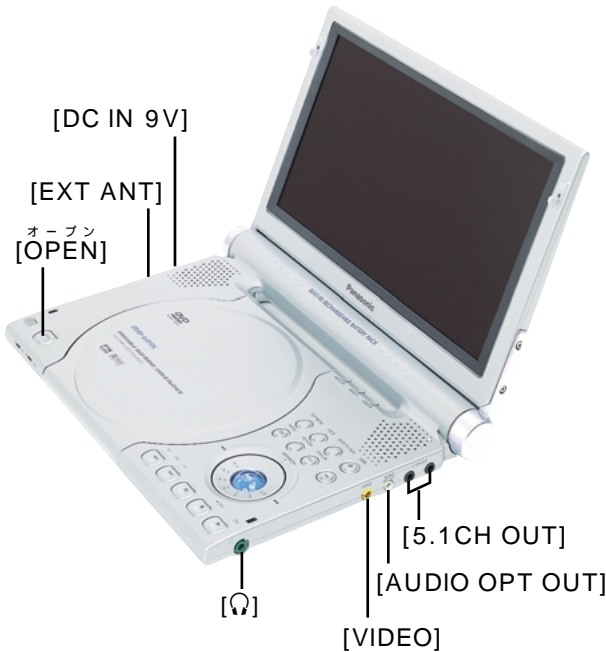
操作するときには、3 ページを開いて「各部のなまえ」を参照すると便利です。

本書では、以下の記号を使用しています。

RAM …DVD-RAM で楽しめる機能
DVD-A …DVD オーディオで楽しめる機能
DVD-V …DVD ビデオで楽しめる機能
VCD …ビデオ CD で楽しめる機能
CD …音楽 CD で楽しめる機能
TV …TV 放送で楽しめる機能

各部のなまえ

本体（操作部）

リモコン

リモコンのカーソルつまみには[ENTER]と印字されていませんが、本体と同じ働き（決定）をします。

[DC IN 9V]
[EXT ANT]
オープン
[OPEN]
[5.1CH OUT]
[AUDIO OPT OUT]
[Ω]
[VIDEO]

■本体カーソルつまみの点灯について

お好みに合わせて本体カーソルつまみの点灯、消灯が選べます。

切り換えかた（工場出荷時： ON）

1. 本体の**[BRIGHT]**を押す
2. **カーソルつまみ**で “ → ” を “ BLUE LED ” 側にする
3. **カーソルつまみ**で “ ON ”（点灯）または “ OFF ”（消灯）を選ぶ

[BRIGHT]を押すと、表示が消えます。

- 本機の操作状態によっては、点滅します。

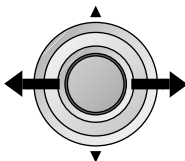
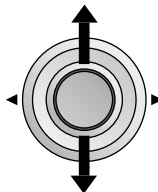
■カーソルつまみの操作について

例：リモコン

左右に動かしたいとき

上下に動かしたいとき

もくじ

各部のなまえ／もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。**
警告	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
注意	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

バッテリーパックは正しく取り扱う

- **充電は本機に接続して行う**
- **長期間使用しないときは、取り外しておく**

バッテリーパックは誤った使い方をしない

- **本機以外の機器に接続しない**
- **クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造したりしない**
- **端子部（⊕と⊖）に金属物（針金など）を接触させない**
- **金属物（ネックレス、ヘアピンなど）と一緒に持ち運んだり保管しない**
- **火への投入、加熱をしない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所や、静電気の発生する場所で充電・使用・放置をしない**
- **汚したり、水でぬらしたり異物を入れたりしない（バッテリーパックは防水構造ではありません）**

- 発熱・発火・破裂の原因になります。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

⚠ 警告

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

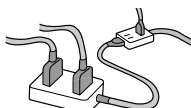
AC アダプターは付属品以外は使わない

- 指定外の AC アダプターを使うと、火災の原因になります。

AC アダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ちまっすぐ抜いてください
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

レーザー光を見つめない

- 視力障害の原因になります。

ボタン電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

ボタン電池は誤った使い方をしない

- **乳幼児の手の届く所に置かない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

- 誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。また、液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐに医師にご相談ください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 警告

カー電源アダプターは指定の製品以外使わない

●指定以外の製品を使用すると、火災の原因になります。

分解、改造はしない

分解禁止

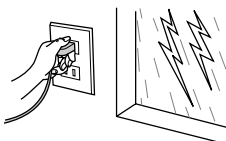
●機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
●点検や修理は、販売店にご相談ください。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない

●交通事故の原因になります。

雷が鳴ったら、アンテナコードや機器、電源プラグに触れない

接触禁止

●感電の恐れがあります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

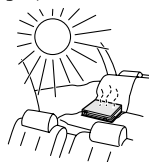
●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

水をかけたり、濡らしたりしない

●本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

ひざの上などで長時間使用しない

●機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

●耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

●本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ディスクについて

再生できるディスク

種類	ロゴ
DVD-RAM DVD-R	DVD RAM RAM4.7 / DVD R R4.7
DVD オーディオ	DVD AUDIO
DVD ビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

■ DVD-RAM ディスク

以下の条件に合ったディスクが再生できます。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

タイプ	● カートリッジなし ● カートリッジ付でディスク取出しが可能なもの（**TYPE 2、TYPE 4**）
容量	9.4GB (両面、12 cm) 4.7GB (片面、12 cm) 2.8GB (両面、8 cm)
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたディスク

- TYPE 2、TYPE 4 のディスクを再生するときは、必ずディスクをカートリッジから取り出し、使用後は、カートリッジに収納してください。（詳細はディスクに付属の説明書などをご覧ください。）
- 番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。
- RAM ディスクの読み込みには、30 秒程度かかります。

■ DVD-R ディスク

DVD ビデオレコーダー「DMR-E20」（当社製）で DVD-R ディスク（当社製）に録画し、ファイナライズした DVD-R は「DVD ビデオ」として再生できます。
ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

■ DVD ビデオディスク

発売地域ごとに割り当てられたリージョン番号が付与されています。

- 本機のリージョン番号は「2」です。
- 「2」（または「2」を含むもの）もしくは、「ALL」が表示された DVD ビデオが再生できます。

など

お知らせ

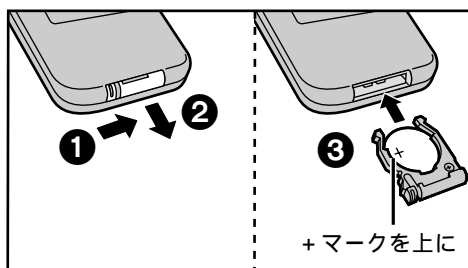
DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD の中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

再生できないディスク

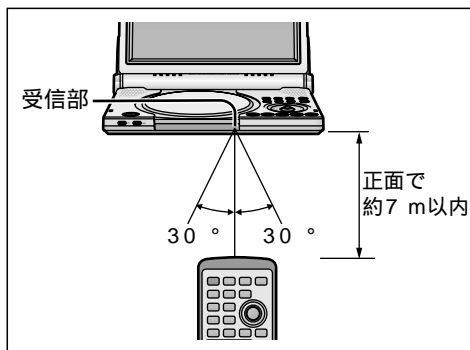
- リージョン番号 **「2」「ALL」以外**の DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク（DVD オーディオの音声部分は再生できます）
- DVD-RAM（2.6GB、TYPE1）
- DVD-ROM
- ＋RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CD-G
- SVCD
- CVD
- SACD
- フォト CD
- CDV

など

リモコンの準備

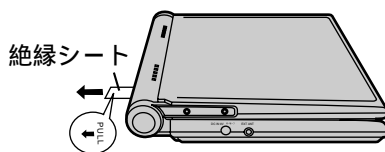
ボタン電池（付属）を入れる

■**電池の交換時期**（1 年が目安です。）

- 下記の使用範囲内でリモコンを操作しても動かないときは、電池を交換してください。
  品番（市販品）**：CR2025**（リチウム電池）
- 廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。（または、地方自治体の条例に従ってください。）

使用範囲

お願い

- 受信部に強い光を当てない。
- リモコンと受信部の間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

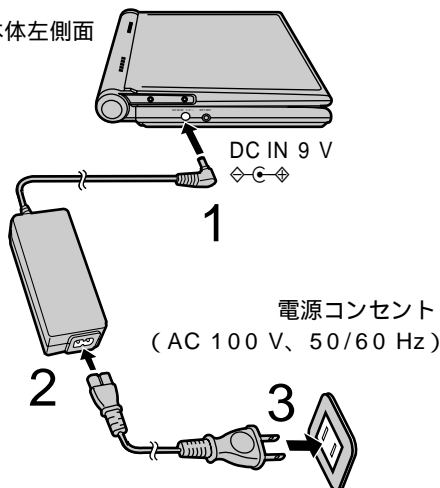
電源の準備

はじめに！
必ず、内蔵バッテリーパックに付いている絶縁シートを引っ張って取り外す

内蔵バッテリーパック：
（品番 VUADB95）（サービスルート扱い）

- **内蔵バッテリーパックは装着した状態でお使いください。**

本機は以下の 4 つの電源で使えます。

- **AC アダプター**（☞ 下記）
- **内蔵バッテリーパック**（☞11 ページ）
- **カー電源アダプター**（☞37 ページ）
- **別売バッテリーパック**（☞38 ページ）

AC アダプター（付属）で使う

海外旅行のお供にも

付属の AC アダプターは AC100 ～ 240 V の電源に使用できます。

- 旅行先のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。

内蔵バッテリーパックで使う

初めてご使用になる場合は、充電してからお使いください。

■充電するには（電源「切」時のみ）

ACアダプターを接続してください。(☞10ページ)

[CHG]ランプが消灯し、**[⏻]ランプ**が点灯すると充電完了です。

- ACアダプターと電源コードを取り外してください。

■充電時間と再生可能時間（単位：時間）

充電時間 (温度20℃)	画面の明るさレベル	再生時間		
		液晶画面「入」	液晶画面「切」	TV受信
約3	−5	約2.5	約3.5	約4
約3	0	約2	約3.5	約3
約3	5	約1.5	約3.5	約2

- 上記の時間は使用条件により異なります。
- 工場出荷時の明るさレベルは“5”です。
- 画面の明るさを変えるには（☞19ページ）

長時間、再生を楽しみたいときは

別売バッテリーパック（☞38ページ）と併用してお使いください。

■バッテリーパックの残量を確認するには

[DISPLAY]（画面表示）を押す

画面に数秒間表示されます。
残量のおおよその目安としてください。

→ 点滅

多い　少ない　**充電してください**
（残量が数分～10分前後になったとき自動的に表示されます。）

■充電しても再生時間が極端に短いときは

バッテリーパックの寿命です。
（充電回数約300回が目安です。）

■長期間使用しないときは

- バッテリーパックを取り外してください。（そのままにしておくと、電源「切」状態でも微少電流が流れていますので、過放電になり故障するおそれがあります。）
- 再使用時は充電してからお使いください。

■内蔵バッテリーパックを取り外すには

ロック解除ボタン

2 上にあげる

1 左に引きながら少し傾け

内蔵バッテリーパック

本体底面

お知らせ

取り外した本体の取扱いに注意してください。

■内蔵バッテリーパックを取り付けるには

カチッと音がしたら取り付け完了です。

- 取り外し/取り付けは、電源を切った状態で行ってください。

使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

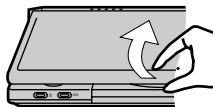
使用済み電池の届け先：

- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
- もしくは、（社）電池工業会へご確認ください。（ホームページ：http://www.baj.or.jp）

リチウムイオン電池使用

ディスクを再生する

準備

- 電源の準備をしてください。（☞10、11 ページ）
- 液晶画面を起こしてください。

1

押してふたを開け、ディスクを入れる

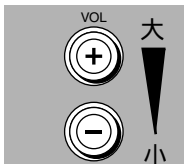
- TYPE 2、TYPE 4 の DVD-RAM ディスクを再生するときは、ディスクをカートリッジから取り出してください。
- 入れ終わったらふたを閉めてください。

再生したい側のラベルを上に

2

押して電源を入れ、再生を始める

- メニュー画面を表示したときは（☞16 ページ）

3

押して音量を調節する

■ 本体で電源を切るには

画面に“ＯＦＦ”が表示されるまで[■、OFF]を押し続ける。

■ リモコンで電源を入/切するには

[⏻、電源］を押す。

- バッテリーパックだけで使用しているときは、電源を入れることができません。

■ 再生経過時間を知りたいときは

GUI バー（☞23 ページ）を表示してください。

■“⃠”を表示したときは

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

本機側

ディスク側

■節電のために

停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます。（**オートパワーオフ**）
ただし、電源が切れた状態でも、約 0.9W の電力を消費しています。長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

お知らせ

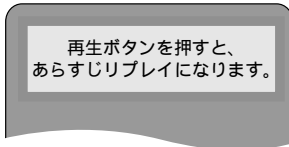
- 長時間お使いになると本体表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 液晶画面を閉じているか、表示モード（☞19 ページ）が“OFF”(映像なし）になっている状態で本体の電源が入っていると、本体の［⏻］ランプが点滅します。

再生を止める

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中
[■]を押す

画面上に“ ▶ ”が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。
“ ▶ ”点滅中、**[▶]（再生）**を押すと、止めた位置から再生が始まります。**（続き再生メモリー機能）**
DVD ビデオの場合は、さらに次の画面を表示します。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

表示中に **[▶]（再生）**を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。（**あらすじリプレイ：**同一タイトル内でのみ働きます。）
[▶]（再生）を押さずに放置しておくと画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

■続き再生メモリー機能を解除するには
[■]を押す

お知らせ

- あらすじリプレイのできないディスクもあります。
- **続き再生メモリー機能は**
  - 電源を切っても働いています。プレイリスト再生中（☞21 ページ）は、電源を切ると解除されます。
  - ふたを開けると解除されます。
  - 再生中、GUI バー（☞23 ページ）に経過時間が表示されないときは働きません。

CD-R/RW と MP3 の再生

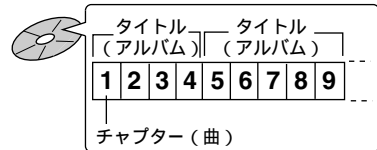
CD

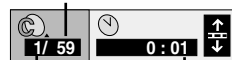
■ CD-R/CD-RW ディスク

本機は、CD-DA フォーマットまたはビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
※音楽用 CD-R/CD-RW の再生対応機器で再生できるよう処理すること。

■ MP3（☞48 ページ）で記録されたディスクは、以下の点で CD と違います。

- **ディスクの構造**

例）

- **選んだ曲から再生**
  数字ボタンで再生したい曲を選び、**[ENTER]** を押す
  - **2 ケタの数字を入力するには**
    例）23 ： [2] → [3] →[ENTER]
- **リピート再生**
  チャプター（曲）／タイトル（アルバム）のリピート再生ができます。
- **プログラム／ランダム再生はできません。**
- **再生中の GUI バー（ディスク情報画面）表示**

総チャプター数

現在のチャプター番号

再生経過時間
（内容の変更はできません。）

お知らせ

- 静止画データの入った MP3 を再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないこともあります。
- 本機は、ID3 タグには対応していません。

静止（一時停止）する

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中

[❚❚]を押す

- [▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。

早戻し・早送りする

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中

<本体>

シャトルダイヤルを回す

<リモコン>

[◀◀]、[▶▶]を押す

[◀◀]：戻る　[▶▶]：進む

- 回していくと（リモコンでは押すたびに）、速くなります。（5段階）
- シャトルダイヤルから手をはなす（リモコンでは[▶]（再生）を押す）と通常再生に戻ります。
- DVD-RAM/DVDオーディオ（動画部）、DVDビデオ、ビデオCDは、早送り1速時のみ音声が聞こえます。（音声を消すには ☞41ページ「早送り時の音声」）

スロー再生する

RAM DVD-A DVD-V VCD

静止（一時停止）中

<本体>

シャトルダイヤルを回す

<リモコン>

[◀◀]、[▶▶]を押す

[◀◀]：戻る※　[▶▶]：進む

※ RAM DVD-A DVD-V のみ

- 回していくと（リモコンでは押すたびに）、速くなります。（5段階）
- シャトルダイヤルから手をはなすと静止（一時停止）し、[▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- DVDオーディオは、動画部でのみ可能です。

コマ送り・コマ戻しする

RAM DVD-A DVD-V VCD

静止（一時停止）中

カーソルつまみ[◀]、[▶]を倒す

[◀]：戻る※　[▶]：進む

※ RAM DVD-A DVD-V のみ

- 倒したままにすると連続してコマ送り／コマ戻し再生します。
- [▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- [❚❚]を押してもコマ送りできます。
- DVDオーディオは、動画部でのみ可能です。

番組・場面・曲を番号指定で再生する　リモコンのみ

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

DVD-RAMは番組、DVDビデオはタイトル、他のディスクはトラックを指定して、再生することができます。

数字ボタンを押す

●2ケタの数字を入力するには

例）25：[≧10]→[2]→[5]

- DVDオーディオの場合、別のグループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を入力してください。（☞15ページ）
- ディスクや再生状態によって働かないことがあります。
- 停止状態でのみ、操作できるディスクもあります。

番組・場面・曲を飛びこす(スキップ)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中/静止（一時停止）中

[|◀◀]（戻る）、**[▶▶|]**（進む）

を押す

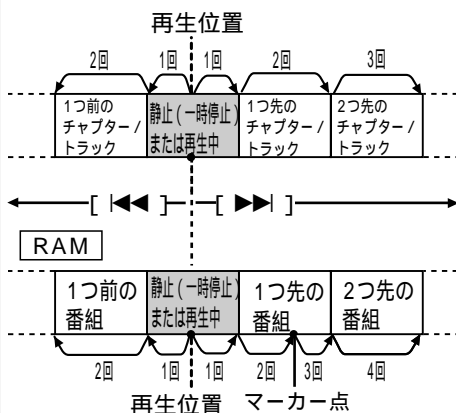
押した回数だけスキップします。

お知らせ

RAM

- マーカー（☞27 ページ）が記録されている場合は、マーカー位置へスキップします。
- プレイリスト再生（☞21 ページ）している場合は、シーンの開始点までスキップします。

スキップの動作について

例）

■ 早送り／早戻し、スロー再生、スキップについて

PBC 付ビデオ CD のメニュー再生中、**[|◀◀ 、▶▶|]** や **[◀◀、▶▶]** の動作はディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどをご参照ください。

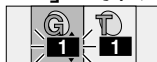
グループを選んで再生する

DVD-A

グループについて

DVD オーディオの曲はグループ単位で分かれています。

各グループがどのように再生されるかはディスクによって異なりますので、ディスクのジャケットなどもご参照ください。

1 リモコンの[グループ] を押す

2 カーソルつまみで
グループ番号を選び、[ENTER]を押す

- **数字ボタン**や**[グループ]**で選ぶこともできます。

3 カーソルつまみで
トラック番号を選び、[ENTER]を押す

選んだグループのトラックが再生されます。

ボーナスグループを再生する

ディスクによっては、暗証番号を入力することで再生が可能になる「ボーナスグループ」を収録したものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

1 **停止中**、ボーナスグループを選び **[ENTER]**を押したあと、**数字ボタン**で暗証番号（4 ケタ）を入力し、もう一度 **[ENTER]**を押す
2 **カーソルつまみ**でトラックを選ぶ。
3 **[ENTER]**を押す

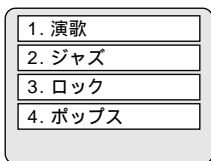
- 間違った番号を入力すると、元の画面に戻ります。最初からやり直してください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまで再び入力する必要はありません。
- 入力中に暗証番号を間違えたときはリモコンの**[取消し]**を押してください。

一度に全グループを再生したいときは、オールグループ再生でお楽しみください。(☞18 ページ)

メニュー画面を表示したときは

DVD-A DVD-V VCD

例）

1. 演歌
2. ジャズ
3. ロック
4. ポップス

数字ボタンを押して項目を選ぶ

●2 ケタの数字を入力するには

例）25 ：［≧10］→［2］→［5］

● DVD の場合、**カーソルつまみ**で項目を選び、**[ENTER]** を押しても選べます。

■メニュー画面に戻すには

再生中

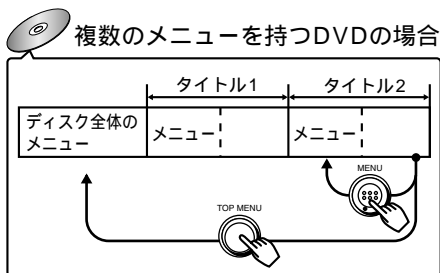
DVD-A DVD-V

[TOP MENU]（トップメニュー）を押す

DVD-V

[MENU]（メニュー）を押す

VCD

[RETURN]（リターン）を押す

ディスクによっては［|◀◀］または［▶▶|］で変えられる場合があります。

お知らせ

メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。続けて再生しないときは[■]を押してください。

V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）で楽しむ

RAM DVD-V VCD

スピーカー V.S.S.（SP-V.S.S.）：
ドルビーデジタル / DTS / MPEG / LPCM 2ch 以上のディスク

ヘッドホン V.S.S.（HP-V.S.S.）：
ドルビーデジタル / MPEG / LPCM 2ch 以上のディスク

準備

接続した機器がある場合は、サラウンド機能を「切」にし、**[VOL ＋、－]**で本機の音量を無音（☞12 ページ）にしてください。

[V.S.S.] を押して

効果のレベルを切り換える

押すたびに　例）スピーカー V.S.S.

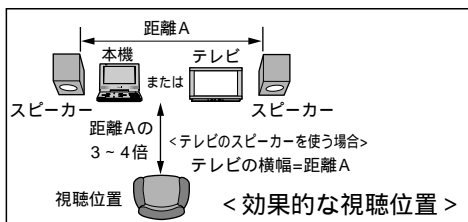
→
→
（標準）　（強）　（切）

● “SP”、“HP”を切り換えるにはカーソルつまみ[◀]で ▲、▼ マークを移して、カーソルつまみで変更してください。

お願い

音声がひずむ場合は「切」にしてください。

お知らせ

● レベルを「1」や「2」に設定しても、ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
● V.S.S.が働いているときはステレオ音声（2 チャンネル）でしか出力されません。
● 本機のステレオスピーカーでは十分な効果は得られません。外部スピーカーを接続することをおすすめします。

音声・字幕・アングルを切り換える リモコンのみ

音声を切り換える

RAM DVD-A DVD-V

再生中

[音声]を押す

例）DVD オーディオ

再生中の音声番号

選んだ音声番号

押すたびに切り換わります。
（音声が記録されていないときは“ — ”と表示）

- DVD-RAM/DVD オーディオ（動画部分以外）では、音声が切り換わると、静止画表示中に流れる音の先頭に戻ります。
- 選んだ音声番号は DVD オーディオの場合、2 つ目の音声がなくても通常、番号 2 まで表示します。（再生中の音声番号は 1 のままです。）
- カラオケディスクでは、ボーカルの「入」「切」ができます。詳しくはディスクのジャケットなどもご参照ください。

アングルを切り換える

DVD-A DVD-V

再生中

[アングル]を押す

押すたびに番号が切り換わります。

あらかじめアングル番号を指定できるディスクもあります。詳しくはディスクのジャケットなどもご参照ください。

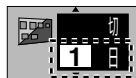
字幕を切り換える

RAM DVD-A DVD-V

再生中

[字幕]を押す

押すたびに番号が切り換わります。
（字幕が記録されていないときは“ — — ”と表示）

例）DVD ビデオ

- 変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。
- DVD-RAM は字幕の「入」「切」のみ、できます。

■ 字幕を「入」「切」するには

1 **[字幕]**を押す
2 （DVD オーディオ/DVD ビデオのみ）
カーソルつまみ[▶]を倒す
3 **カーソルつまみ**で「入」「切」を選ぶ

■ 画面表示を消すには

[RETURN]（リターン）を押す

■“⃠”が表示されたときは

ディスクに記録されていない番号を選んでいるため、受け付けません。

お知らせ

- **カーソルつまみ**や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。
- 一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は、▲、▼ マークは表示されません。
- 音声／字幕言語は、あらかじめ本機で指定しておくことができます。（“ ディスク ” ☞40 ページ）
- メニュー画面でのみ切り換えができるディスクもあります。

再生の種類を切り換える

全てのグループを順に再生する（オールグループ再生）

DVD-A

1 停止中、リモコンの［**再生モード**］を押して
オールグループ再生を選ぶ

2 **［▶］（再生）を押す**

オールグループ再生

プレイボタンでオールグループ再生スタート

好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-A　VCD　CD

最大 32 トラックまで好みの順に再生します。

1 停止中、リモコンの［**再生モード**］を押して
プログラム再生を選ぶ

例）DVD オーディオ

再生モード

グループ・トラック番号を選んでください

順位　G　T　タイム

1

再生

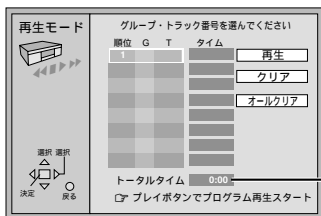
クリア

オールクリア

選択　選択

決定　戻る

トータルタイム　0:00

☞ プレイボタンでプログラム再生スタート

予約合計時間

2 **［ENTER］を押す**

3 **＜DVD-A のみ＞**
カーソルつまみで
グループを選び
[ENTER]を押す

4 **カーソルつまみ**で
トラックを選び
[ENTER]を押す

倒すたびに

1 ←——→ 2 ←-------→ ALL
↑___________________↑

必要なだけ手順 2 ～ 4 を繰り返してください。

- “ ALL ” を選ぶと全曲（DVD オーディオの場合はグループ内の全曲）が予約されます。

5 **［▶］（再生）を押す**

■ 再生中に予約内容を変更するには

[■]を数回押す

プログラム画面が表示されます。

＜予約を追加・変更する＞

1 **カーソルつまみ**で項目（順位）を選ぶ
2 左記手順 **2** から **4** の操作を行う
必要なだけ上記手順 1、2 をくり返してください。

＜予約を 1 つずつ取消す＞

1 **カーソルつまみ**で取消す項目（順位）を選ぶ
2 リモコンの[**取消し**]を押す
- **カーソルつまみ**で “ **クリア** ” を選び[**ENTER**]を押しても取消せます。

＜プログラム画面のページを前後に移動する＞

[◀◀]または[▶▶]を押す

＜予約を全て取消す＞

1 **カーソルつまみ**で “ **オールクリア** ” を選ぶ
2 [**ENTER**]を押す

お知らせ

- **数字ボタン**でグループやトラックを選ぶこともできます。
- 予約は電源を切るか、ふたを開けるまで保持されます。

プログラム再生/ランダム画面で DVD オーディオの「ボーナスグループ」を選んだときは、暗証番号（4 ケタ）を入力してください。（☞15 ページ）

順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-A　VCD　CD

1 停止中、リモコンの［**再生モード**］を押して
ランダム再生を選ぶ

例）DVD オーディオ

2 <DVD-A のみ>
カーソルつまみで
グループを選び
［ENTER］を押す
（複数選べます。）
● **数字ボタン**で選ぶこともできます。

3 **［▶］（再生）を押す**

■選んだグループを取消すには

1 **カーソルつまみ**で取消すグループを選ぶ

2 リモコンの［**取消し**］または［**ENTER**］を押す

● **数字ボタン**でグループ番号を直接入力しても取消すことができます。

通常の画面に戻すには

停止中、リモコンの［**再生モード**］を通常画面になるまで押す

映像の設定を変える

RAM　DVD-A　DVD-V　VCD　TV

映像のサイズ

本体の［**MONITOR**］を押して
表示モードを切り換える

押すたびに

NORMAL ⟶ FULL ⟶ ZOOM
↑―― **OFF（映像なし）** ←――┘

■表示モードと映像のサイズ

画面に映し出される映像は表示モードとディスク側の画面サイズによって異なります。

	NORMAL	FULL	ZOOM
ワイド	フル画面	フル画面	上下が切れる
4:3	左右に黒帯が出る	左の画面が左右に伸びる	左の画面の上下が切れる
4:3（レターボックス）	上下左右に黒帯が出る	左の画面が左右に伸びる	フル画面

● 本機の液晶画面を使わないときは節電のため、“OFF”（映像なし）にすることをおすすめします。（[⏻] **ランプ**は点滅）
● 液晶画面を閉じると自動的に“OFF”（映像なし）になります。
● “ZOOM”のとき画面に横線が出ることがありますが、異常ではありません。

明るさ

1 **本体の［BRIGHT］を押す**

2 **カーソルつまみ**で
“→”を“BRIGHT”側にする

3 **カーソルつまみ**で
明るさを調節する
－5（暗い）～5（明るい）

明るいほど電力消費量は大きくなります。

色の濃さ

1 **本体の［COLOUR］を押す**

2 **カーソルつまみ**で
色の濃さを調節する
－5（薄い）～5（濃い）

お知らせ

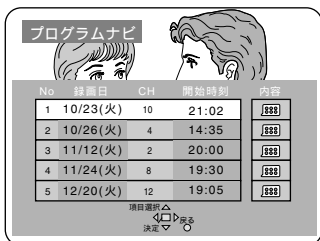
● 設定は、本機の液晶画面にのみ有効です。テレビなどを接続して映像をお楽しみの場合は、接続した機器側で調節してください。
● 「明るさ」、「色の濃さ」表示は、もう一度同じボタンを押すと、消えます。

RAM ディスクに録画した番組を再生する

番組を選んで再生する（プログラムナビ再生）

ディスクに番組リストが記録されている場合、このリストを利用して、見たい番組を探し出して再生することができます。

1 [TOP MENU]（トップメニュー）を押す

（番組リスト画面が表示されます。）

2 カーソルつまみで 見たい番組を選ぶ

数字ボタンで選んだ場合、手順 3 は不要です。

●2 ケタの数字を入力するには

例）25 ： [≧10] → [2] → [5]

3 [▶]（再生）または[ENTER]を押す

（リスト背景で再生していた続きから再生されます。）

■ 番組リスト画面を消すには

[TOP MENU]（トップメニュー）を押す

（番組リスト画面を呼び出したときの画面に戻ります。）

■ 選んだ番組の情報を見るには

1 番組を選ぶ（左記手順 1、2）

2 カーソルつまみ[▶]で右端の「内容」欄を選び、**[ENTER]**を押す

画面背景は静止（一時停止）状態になります。もう一度**[ENTER]**を押すと、番組リスト画面に戻ります。

■ 番組が 6 以上あるときは

ハイライトが番組 5 にあるときに**カーソルつまみ[▼]**を倒す。（続けて倒すと、それ以降の番組リストが表示されます。）

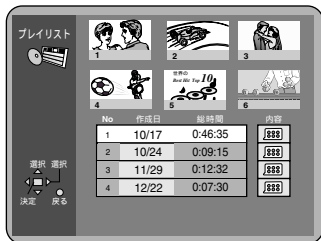
お知らせ

- 番組にタイトルが記録されていない場合やディスクにディスク名が記録されていない場合、タイトル／ディスク名は表示されません。
- 本機では、タイトルやディスク名の変更はできません。

お好みのシーンだけを再生する（プレイリスト再生）

ディスクにプレイリスト（お好みのシーンを集めたリスト）が記録されている場合、見たいシーンを探して再生することができます。

1 [MENU]（メニュー）を押す

（プレイリスト画面が表示されます。）

2 カーソルつまみで
お好みのプレイリストを選ぶ

- 続けて[ENTER]を押すか、**数字ボタン**でプレイリストを選ぶと、選んだプレイリストの全シーンを初めから順番に再生することができます。

3 カーソルつまみ[▶]で
右端の「内容」欄を選び、
[ENTER]を押す

4 カーソルつまみで
"シーン一覧"を選び、
[ENTER]を押す

（シーン一覧画面が表示されます。）

5 カーソルつまみで
お好みのシーンを選び、
[ENTER]を押す

（再生が始まります。）

- シーンの表示がないところへハイライト表示を動かすことはできません。
- シーンが10以上ある場合、**カーソルつまみ**で「次ページ」を選び、[ENTER]を押すと、次のシーン一覧が表示されます。「前ページ」を選ぶと1つ前のシーン一覧が表示されます。
- **数字ボタン**でもシーン一覧ページを選ぶことができます。（ページ番号が画面右上に表示されます。）

  数字を入力するには

  25: [2] → [5] → [ENTER]
  111: [1] → [1] → [1] → [ENTER]

■ 選んだプレイリストの情報を見るには

1 プレイリストを選ぶ（左記手順1、2）
2 **カーソルつまみ[▶]**で右端の「内容」欄を選び、[ENTER]を押す。
3 **カーソルつまみ**で「番組内容確認」を選び、[ENTER]を押す。

■ 再生が終了したら

プレイリスト再生時は、プレイリスト画面に、シーン再生時は、シーン一覧画面に戻ります。

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

■ 画面表示を消すには

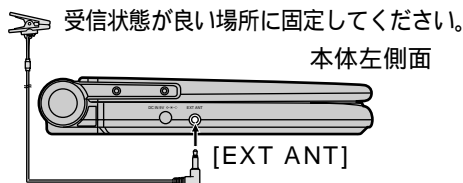
[MENU]（メニュー）を押す
（プレイリスト画面を呼び出したときの画面に戻ります。）

■ プレイリストメニュー再生をやめるには

[■]を数回押して、画面表示を消す

テレビ放送を楽しむ

アンテナコード（付属）と接続

アンテナコードを接続しないとテレビ放送を見ることはできません。

チャンネルを自動で記憶する（オートプリセット）

本機ではVHF/UHF放送が楽しめます。

1 [DVD/TV/AUX]（DVD/テレビ/外部）を押して **“TV”を選ぶ**

初めて設定する場合は、画面に“1CH”と数秒間表示されます。

2 画面が切り換わるまで
[CH ∨、∧]（チャンネル ∨、∧）を押し続ける

- 受信可能なチャンネルを記憶していきます。
- オートプリセットが終了すると記憶されたすべてのチャンネル番号を画面に数秒表示し、最初に設定されたチャンネルを表示します。

テレビ番組を見る

[CH ∨、∧]（チャンネル ∨、∧）を押して
お好みの番組に合わせる

- 映像のサイズ、明るさ、色の濃さは必要に応じて調節してください。（☞19ページ）

■ チャンネルを追加するには（マニュアルプリセット）

1 カーソルつまみ[▲、▼]で追加したいチャンネルを選ぶ

2 [ENTER]を押す

必要な回数だけ手順1、2をくり返す。

■ チャンネルを削除するには

1 [CH ∨、∧]（チャンネル ∨、∧）で削除したいチャンネルを選ぶ

2 リモコンの**[取消し]**を押す

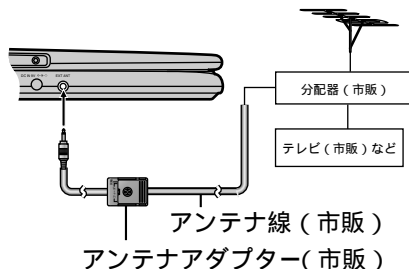
チャンネルを切換えるまで、その番組は表示されています。

■ 受信可能なチャンネルだけ受信する（シークモード）

カーソルつまみ[▲、▼]を1秒以上倒す

- 受信可能なチャンネルを自動的に選局して止まります。

■ 屋外アンテナと接続するには

付属のアンテナでテレビ放送をきれいに受信できない場合は、屋外アンテナと接続することをおすすめします。

- ご利用の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 詳しくはアンテナアダプターの説明書をお読みください。

お知らせ

- 本機では二重放送の切換えはできません。
- テレビの音声はモノラルです。
- 電波の弱い場所では、チャンネルを記憶できない場合があります。
- 電源を切ってもチャンネルは記憶されています。
- アンテナコードを本体の液晶画面に近付けると画面の映りが悪くなる場合があります。

絵表示（GUI バー）を使って操作する

GUI(Graphical User Interface)とは（ジーユーアイ グラフィカル ユーザー インターフェース）
「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する画面表示を「GUI バー」と呼びます。
情報を確認しながら内容を変更できます。

お知らせ

下記の操作はGUI バーでのみ可能です。

- **経過時間／チャプター／トラック表示**
- **静止画番号**
- **A-B リピート再生**
- **リピート再生**
- **マーカー**
- **画質モード**
- **ダイアログエンハンサー「入」「切」**
- **ビットレート表示**

基本操作

1 **[DISPLAY]（画面表示）**を押して
GUI バーを表示する

押すたびに切り換わります。

表示例） DVD ビデオ

<ディスク情報画面>(☞24 ページ)

↓

＜本機情報画面＞（☞26 ページ）

↓

＜シャトル画面＞（☞29 ページ）

↓

GUI バーなし

2 **（本機情報画面のみ）**
カーソルつまみで**左端のアイコンを選び**
カーソルつまみ[▲、▼]で
メニューを選ぶ

倒すたびに

再生設定←→映像設定←→音声設定←→表示設定

3 **カーソルつまみ[◄、►]**で
項目を選ぶ

内容については 24 ～ 28 ページをご覧ください。
シャトル画面の場合、この手順は不要です。

4 **カーソルつまみ[▲、▼]**で
内容を変更する

数字ボタンで変更できるものもあります。変更が実行されないときは、**[ENTER]**を押してください。

■ GUI バーを消すには

消えるまで**[RETURN](リターン)**を押す

■ GUI バーの位置を変えるには

5 段階の調整ができます。

1 **カーソルつまみ**で矢印アイコンを選ぶ

2 **カーソルつまみ**で GUI バーの位置を変える

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できないものがあります。

ディスク情報画面の表示例

例）DVDビデオ

アイコン	内容
PG 2	**プログラム番号** RAM
PL 2	**プレイリスト番号** RAM
G 2	**グループ番号** DVD-A
T 2	**タイトル番号** DVD-V **トラック番号** DVD-A VCD CD
C 2	**チャプター番号** DVD-V
1 : 46 : 50	**経過時間** DVD-A DVD-V **（番組経過時間：RAM）** **数字ボタン**で指定した時間から再生 例)1時間46分50秒から再生する **[1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[ENTER]**を押す --- **時間表示** DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 →トラックの経過時間 ↕ トラックの残り時間 ↕ →ディスクの残り時間
L R	**音声チャンネル** RAM VCD チャンネルを選ぶとその音声で再生 **LR** ←→ **L** ←→ **R** (左右)　(左)　(右) ↑＿＿＿＿＿＿＿＿↑

アイコン	内容
例) DVD ビデオ DD Digital 1 日　3/2.1 ch ⓐ　ⓑ	**音声番号** RAM DVD-A DVD-V 番号を選ぶとその音声で再生 ⓐ 番号に割り当てられた言語（☞ 下記ⓐ） ⓑ 番号に割り当てられた音声属性（☞ 下記ⓑ）
Vocal 1 ＊ 切	**カラオケボーカル「入」「切」** DVD-V（カラオケ DVD のみ） **ソロ**：切↔入 **デュエット**： 切↔ 1 ＋ 2 ↔ V1 ↔ V2
入 1 日	**字幕番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとその字幕を表示（☞ 下記ⓐ）
入 1 日	**字幕「入」「切」** RAM DVD-A DVD-V 字幕を「入」「切」する
1	**アングル番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとそのアングルで再生
PBC 入	**メニュー再生の「入」「切」表示** （PBC 付 VCD） 内容変更はできません
Page 1	**静止画番号** DVD-A 番号を選ぶとその画像で再生

ⓐ 音声／字幕言語

日：日本語
英：英語
仏：フランス語
伊：イタリア語
独：ドイツ語
西：スペイン語
蘭：オランダ語
中：中国語
露：ロシア語
韓：韓国語
＊：その他

ⓑ 音声属性

LPCM/PPCM（パックト PCM）/
DDDigital/DTS/MPEG：信号タイプ
k (kHz)：サンプリング周波数
b (bit)：ビット数
ch：チャンネル数

絵表示（GUI バー）を使って操作する（つづき）

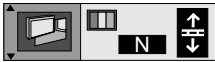
本機情報画面の表示例

再生設定

アイコン	内容
AB	**A-B リピート再生** RAM DVD-A DVD-V VCD CD 同一番組/タイトル/トラック内でお好みの 2 点をくり返し再生 再生中**[ENTER]**を押すたびに A 点を指定 → B 点を指定 → 通常再生 ● ディスクによっては働かないものもあります。 ● B 点を指定する前に番組/タイトル/トラックが終わったときは、その終点が B 点として指定されます。 ● A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。
切	**リピート再生** RAM **PG**（プログラム） **A**（ディスク全体） **切**（通常再生） <プレイリスト再生時> **S**（シーン） **PL**※1（プレイリスト） **切**（通常再生） DVD-V **C**（チャプター） **T**（タイトル） **切**（通常再生） DVD-A VCD CD **T**（トラック） **A**（ディスク全体）／**G**※2（グループ全体） **切**（通常再生） **＜ PBC 付ビデオ CD の場合＞** **1** 再生中、[■]を押す **2** **数字ボタン**でトラックを選び、再生を始める **3** リピートモードを選ぶ メニュー再生に戻すには、[■]を 2 回押し、続き再生メモリー機能を解除してから**[▶]（再生）**を押す **お好みのトラックをリピート再生するには** お好みのトラックを予約し（(☞18 ページ)、プログラム再生中にに " T " または " A " を選ぶ **お知らせ** ※ **1** プレイリストのシーン再生中は表示されません。 ※ **2** DVD オーディオのオールグループ/プログラム/ランダム再生時は " G " ではなく " A " と表示されます。 ● ディスクによっては働かないものもあります。 ● ディスク全体（DVD ビデオ）や全てのプレイリスト（DVD-RAM）をリピート再生することはできません。
---	**再生モード表示** DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 **RND** ：ランダム再生 **PGM** ：プログラム再生 **---** ：通常再生 **ALL** ：オールグループ（DVD-A）

アイコン	内容
DVD-A DVD-V VCD CD RAM 	**マーカー** もう一度再生したいところにマークを付ける DVD-A DVD-V VCD CD：（最大 5 カ所） 再生中[ENTER]を押し、マークを付けたいところでもう一度押す RAM：（最大 999 カ所） 再生中、[ENTER]を押し、**カーソルつまみ**を倒して“ ＊ ”を選んだあと、マークを付けたいところでもう一度押す （DVD レコーダーなどでマーカーを記録したディスクを入れた場合、ディスクに記録されているマーカー番号が表示されます。） - - - - - - - - - - ● **複数のマークを付けるには** RAM DVD-A DVD-V VCD CD **カーソルつまみ**を倒し、マークを付けたいところで[ENTER]を押す RAM（11 個以上付ける場合） マーカーアイコン表示中、まず 10 番台の数字を選びます。 1. **カーソルつまみ**でマーカーピンアイコンをハイライトさせる マーカーピンアイコン — 1−10 12345678910 — マーカーアイコン 2. **カーソルつまみ**で 11 ～ 20 を選ぶ（10 個マークが付いた時点で次の 10 番台が選べます。） ● **マークを呼び出すには** **カーソルつまみ**でマークを選び[ENTER]を押す ● **マークを取消すには** **カーソルつまみ**でマークを選び、リモコンの[**取消し**]を押す **お知らせ** ● プレイリスト再生時（DVD-RAM）や GUI バーに経過時間が表示されないときは、マーカー機能は働きません。 ● マーカー番号はディスクの時間経過順に並べられます。追加や取消しを行うと、付けたときの番号と呼び出したときの番号が異なる場合があります。 ● **DVD レコーダーなどで RAM ディスクに記録したマーカー**も取消すことができますが、電源を切るか、ふたを開け、再度ディスクを入れるとマーカーは再度表示されます。また**本機で付けたマーカー**は電源を切るか、ふたを開けると取り消されます。

本機情報画面の表示例（つづき）

映像設定

アイコン	内容
N	**画質モード** RAM DVD-A DVD-V VCD **N** ：通常画質 **C** ：シネマ画質　（映画鑑賞に適した画質）

音声設定

アイコン	内容
SP 切	**V.S.S.**（☞16 ページ） RAM DVD-V VCD ● **スピーカー V.S.S.(SP-V.S.S.)** ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク ● **ヘッドホン V.S.S.(HP-V.S.S.)** ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク V.S.S.レベル **SP 1/HP 1** ：標準 **SP 2/HP 2** ：強 **SP 切/HP 切**： V.S.S.解除
切	**ダイアログエンハンサー** DVD-V （ドルビーデジタル／ DTS　3ch 以上のディスク） **「入」 ⟷ 「切」** 「入」を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がる

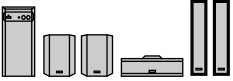
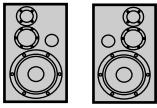
表示設定

アイコン	内容
Bit 切	**ビットレート表示** RAM DVD-V VCD **「入」 ⟷ 「切」** 映像の種類（I ／ P ／ B ☞48 ページ）とビットレートを表示する（値は目安です） 動画再生時：再生画像の平均ビットレート 静止時：フレームのデータ量

シャトル画面の表示例

❚❚	**静止／一時停止**
◀❙ ❙▶	**スロー再生** ◀❙ ：戻る RAM DVD-A DVD-V ❙▶ ：進む RAM DVD-A DVD-V VCD
▶	**再生**
◀◀ ▶▶	**早戻し／早送り** ◀◀ ：戻る　▶▶ ：進む

お知らせ

- 早戻し／早送り、スロー再生の速度は 5 段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し／早送りの最大速度を表示しています。
- ディスクによって操作できないものもあります。
- DVD オーディオのスロー再生は、動画部でのみ可能です。

言語番号一覧表（初期設定 ☞42 ページで使用します。）

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	カンナダ	7578	タタール	8484	フリジア	7089
アイマラ	6588	カンボジア	7577	タミル	8465	ブータン	6890
アイルランド	7165	キルギス	7589	タガログ	8476	ブルガリア	6671
アゼルバイジャン	6590	ギリシャ	6976	タジク	8471	ブルターニュ	6682
アッサム	6583	クルド	7585	チェコ	6783	ヘブライ	7387
アファル	6565	クロアチア	7282	中国語	9072	ベトナム	8673
アフリカーンス	6570	グアラニー	7178	チベット	6679	ベロルシア（白ロシア）	6669
アブハジア	6566	グジャラト	7185	ティグリニア	8473	ベンガル（バングラ）	6678
アムハラ	6577	グリーンランド	7576	テルグ	8469	ペルシャ	7065
アラビア	6582	グルジア	7565	デンマーク	6865	ポーランド	8076
アルバニア	8381	ケチュア	8185	トウイ	8487	ポルトガル	8084
アルメニア	7289	ゲール（スコットランド）	7168	トルクメン	8475	マオリ	7773
イタリア	7384	コーサ	8872	トルコ	8482	マケドニア	7775
イディッシュ	7473	コルシカ	6779	トンガ	8479	マライ（マレー）	7783
インターリングア	7365	サモア	8377	ドイツ	6869	マラッタ	7782
インドネシア	7378	サンスクリット	8365	ナウル	7865	マラヤーラム	7776
ウェールズ	6789	ショナ	8378	日本語	7465	マルタ	7784
ウォロフ	8779	シンド	8368	ネパール	7869	マダガスカル	7771
ヴォラピュック	8679	シンハラ	8373	ノルウェー	7879	モルダビア	7779
ウクライナ	8575	ジャワ	7487	ハウサ	7265	モンゴル	7778
ウズベク	8590	スウェーデン	8386	ハンガリー	7285	ヨルバ	8979
ウルドゥー	8582	スロバキア	8375	バシキール	6665	ラオ	7679
英語	6978	スロベニア	8376	バスク	6985	ラテン	7665
エストニア	6984	スワヒリ	8387	パシュト	8083	ラトビア（レット）	7686
エスペラント	6979	スンダ	8385	パンジャブ	8065	リトアニア	7684
オーリヤ	7982	スペイン	6983	ヒンディー	7273	リンガラ	7678
オランダ	7876	ズールー	9085	ビハール	6672	ルーマニア	8279
カザフ	7575	セルビア	8382	ビルマ	7789	レトロマンス	8277
カシミール	7583	セルボクロアチア	8372	フィジー	7074	ロシア	8285
カタロニア	6765	ソマリ	8379	フィンランド	7073		
ガリチア	7176	タイ	8472	フェロー	7079		
韓国（朝鮮）語	7579			フランス	7082		

他の機器と組み合わせる

本機はドルビーデジタル／DTSデコーダー（☞48、49ページ）を内蔵しています。別売のドルビーデジタルデコーダーやDTSデコーダーがなくても、AVアンプの5.1ch音声入力端子に接続すると、ドルビーデジタル／DTSで記録されたDVD再生時、映画館やホールにいるような臨場感と迫力ある音声をご家庭で楽しめます。
192 kHzや96 kHzの高音質を楽しみたいときは、アナログ接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のかかったディスクでは48 kHzに変換しないと音声がでません。

こんなときは	こんな方法があります	設定内容 （☞43～45ページ）
5.1chスピーカーでサラウンドサウンドを楽しむ	**＜アナログ接続＞** AVアンプ（5.1ch音声入力端子付）と接続する （☞31ページ）	**スピーカーの設定**⇒“マルチチャンネル”
	＜デジタル接続＞ AVアンプ（デコーダー内蔵タイプまたはデコーダーとAVアンプの組み合わせ）と接続する （☞32ページ）	● **PCMダウンサンプリング変換/Dolby Digital/DTS Digital Surround**⇒接続する機器に合わせて設定 ● **スピーカーの設定はAVアンプまたはデコーダーで行ってください。**
2本のスピーカーでステレオサウンド／ドルビープロロジックを楽しむ	**＜アナログ接続＞** アナログアンプやミニコンポと接続する （☞33ページ）	**スピーカーの設定**⇒“2チャンネル”
	＜デジタル接続＞ デジタルアンプやミニコンポと接続する （☞33ページ）	● **PCMダウンサンプリング変換**⇒接続する機器に合わせて設定 ● **Dolby Digital/DTS Digital Surround**⇒“PCM”

こんなこともできます

- **テレビと接続する**（☞34ページ）
- **アクティブスピーカーと接続する**（☞36ページ）
- **ヘッドホンと接続する**（☞36ページ）
- **ビデオカメラと接続する**（☞37ページ）
- **カー電源アダプターと接続する**（☞37ページ）
- **MDやカセットテープに録音する**（☞38ページ）

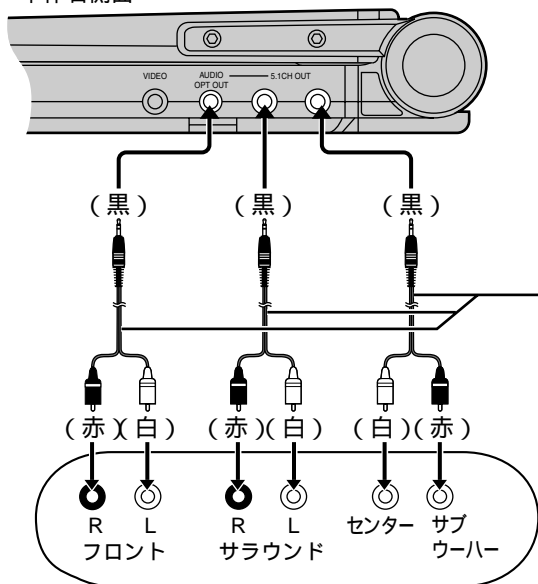
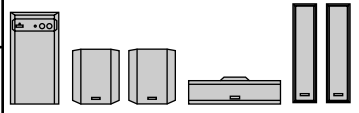
別売品の品番については46ページをご参照ください。

お知らせ

- 機器との接続は一例です。
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。

より迫力ある音声で楽しむ

AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と接続

<アナログ接続>

スピーカー（別売）
サブウーハーを接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをおすすめします。

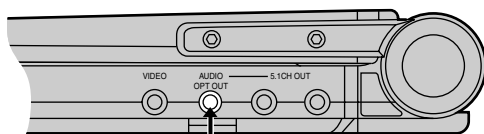
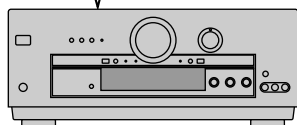
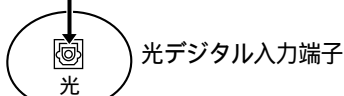
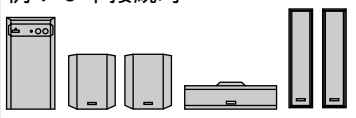
● 『スピーカー設定』（☞44 ページ）を行ってください。

お願い

スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.（☞16 ページ）は**「切」**にしてください。
「1」（標準)、「2」（強）に設定すると、フロント(L ／ R）以外のスピーカーから音が出ません。

より迫力ある音声で楽しむ（つづき）

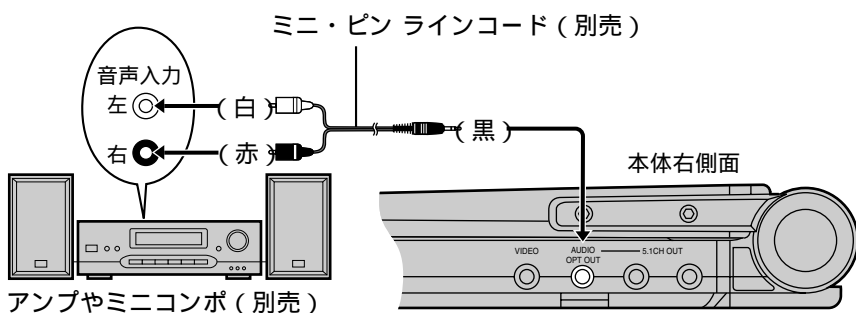
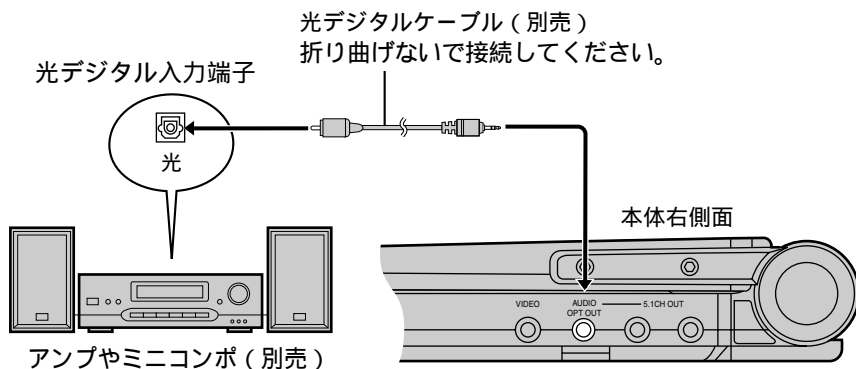
デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー＋ AV アンプ）と接続

＜デジタル接続＞

スピーカー（別売）
サブウーハーを接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをおすすめします。

● 『デジタル出力の設定』（☞43 ページ）を行ってください。

お知らせ

DVD ビデオに対応していない DTS デコーダーは使用できません。

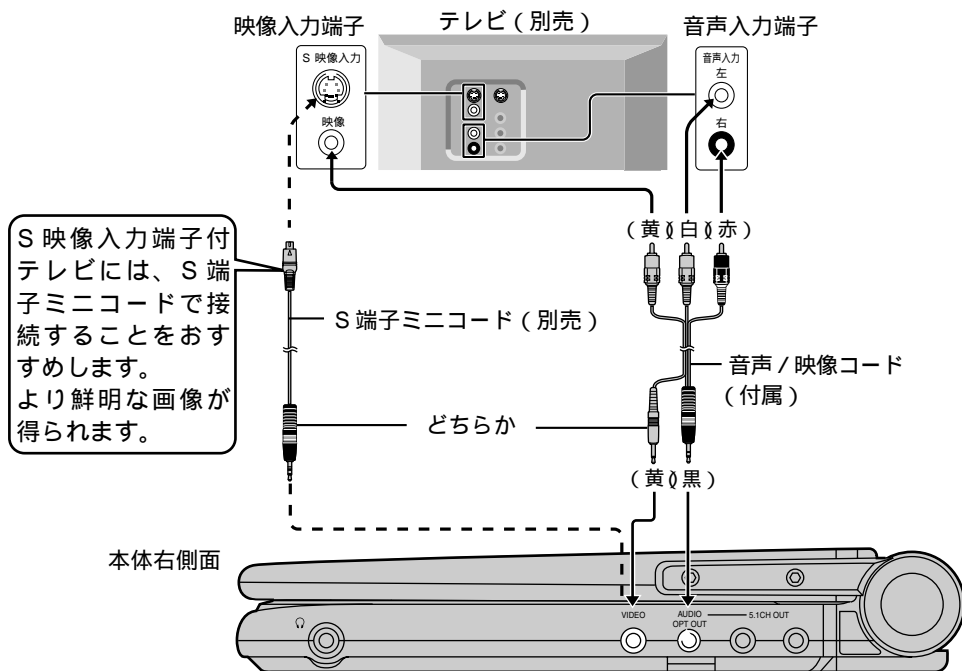
アナログ音響機器との接続

デジタル音響機器との接続

● 『デジタル出力の設定』（☞43 ページ）を行ってください。

ドルビープロロジック（☞49 ページ）のサラウンド効果を楽しむには
上記の接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご参照ください。また、この場合スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.（☞16 ページ）は「切」にしてください。「1」（標準)、「2」（強）に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

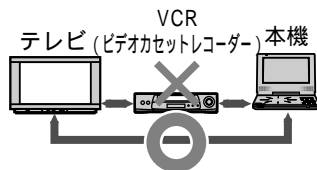
より大きな画面で楽しむ

テレビと接続する

準備

- 本機およびテレビの電源を「切」にしてください。
- テレビの説明書もよくお読みください。

お願い

- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。
- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。VCR（ビデオカセットレコーダー）や VTR 内蔵テレビのビデオ側端子を経由して接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。

テレビ　VCR（ビデオカセットレコーダー）　本機

- DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。**ディスクを再生したときにテレビの音量を上げた場合**、テレビ側に切り換える前に、**必ず元の音量に戻してください。**突然大きな音が出ることがあります。

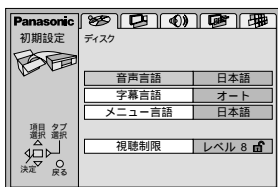
テレビに合わせて設定する

お持ちのテレビやお好みに合わせて設定を変えることができます。

準備

- 本機およびテレビの電源を入れてください。
- テレビの外部入力(「ビデオ 1」など)を切り換えてください。

1 リモコンの[**初期設定**]を押して
初期設定画面を表示する

- 停止中、[**MENU**](**メニュー**)を押しても表示します。

2 **カーソルつまみ**で
"映像"を選ぶ

3 **カーソルつまみ**で
"TV アスペクト"を選び[ENTER]を押す

4 **カーソルつまみ**で
テレビ画面の横縦比を選び[ENTER](決定)を押す

- **4 : 3 パン&スキャン**
  標準サイズのテレビ[ワイドサイズ(16 : 9)のソフトをパン&スキャンで映したいとき](ⓐ)
- **4 : 3 レターボックス**
  標準サイズのテレビ[ワイドサイズ(16 : 9)のソフトをレターボックスで映したいとき](ⓑ)
- **16 : 9**(出荷時の設定)
  ワイドサイズのテレビ

ⓐ ⓑ
5 リモコンの[**初期設定**]を押して
設定を終了する

■ひとつ前の画面に戻るには

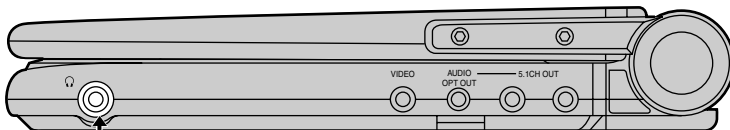
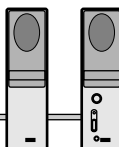
[RETURN](リターン)を押す

お知らせ

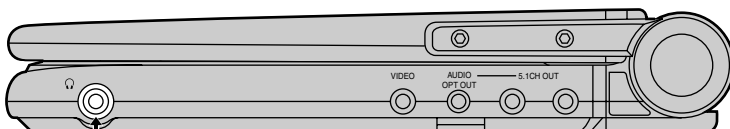
- ワイドサイズ(16 : 9)のソフトの中には、この設定に関わらず、レターボックスでしか映らないものがあります。
- DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。標準サイズ(4 : 3)のテレビへの表示方法は左記の設定で選べますが、ワイドテレビ(16 : 9)をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。

その他の楽しみかた

アクティブスピーカーシステムで楽しむ

音量はいったん下げて（☞12 ページ)、接続してから調節してください。

本体右側面

ヘッドホンで楽しむ

音量はいったん下げて（☞12 ページ)、接続してから調節してください。

本体右側面

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

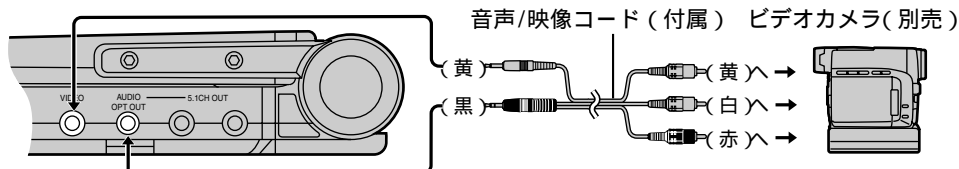
音のエチケット
シンボルマーク

お知らせ

アクティブスピーカーやヘッドホンを接続したときは、本機のステレオスピーカーからは音が出ません。

ビデオカメラで撮った映像を楽しむ

1 接続する

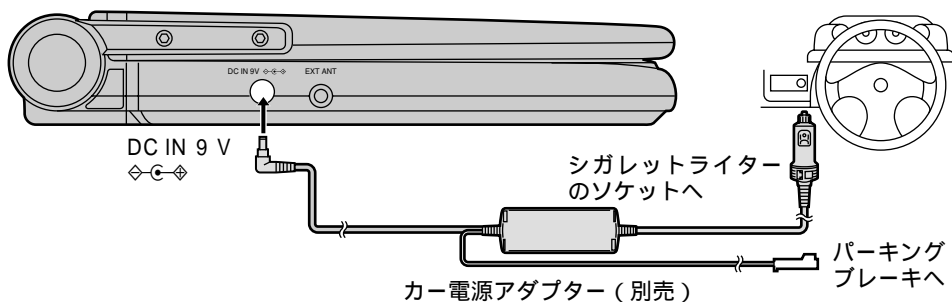
本体右側面

2 ［DVD/TV/AUX］（DVD/テレビ/外部）を押して “ AUX ” を選ぶ

お知らせ

- 電源を切ると AUX モードは解除されます。
- “ AUX ” が選ばれているときにはオートパワーオフ（☞12 ページ）は働きません。続けて再生しないときは必ず電源を切っておいてください。

カー電源アダプター（別売）で車内で楽しむ　品番：DY-DC95

- 取付けには工事が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- カー電源アダプターの説明書もよくお読みください。

本体左側面

お知らせ

- 安全のため、車の運転中は本機を操作したり、画面を見たりしないでください。
- 機器が熱くなり低温やけどの原因となりますので、ひざの上などで長時間使用しないでください。安定した場所に置いてお楽しみください。
- カーステレオカセットアダプター（☞46 ページ）を、本機の［🎧］ヘッドホン端子に接続してカーステレオで音声を楽しむこともできます。

MD やカセットテープに録音する

＜アナログ録音＞
アナログ信号に変換された音声を、コピーガードの影響を受けずにカセットテープや MD に録音できます。

ミニ・ピン ラインコード（別売）を使って、本機を録音機器と接続する。（☞33 ページ）

＜デジタル録音＞
デジタル信号のまま MD などに録音できます。ただし全ての信号がリニア PCM48 kHz/16 bit 以下に変換されます。また、DVD の場合、以下の条件が必要です。

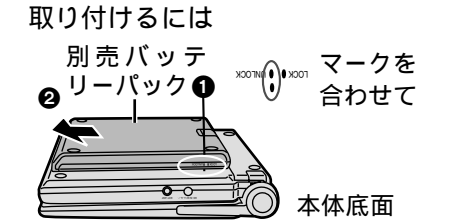
- ディスクに著作権保護の処理がされていない。
- 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz に対応している

1 光デジタルケーブルを使って、本機を録音機器と接続する（☞33 ページ）

2 DVD の場合、以下の設定をする
V.S.S.：“ 切 ”（☞16 ページ）
PCM ダウンサンプリング変換：“ する ”（☞43 ページ）
Dolby Digital/DTS Digital Surround：“ PCM ”（☞43 ページ）

別売バッテリーパックで楽しむ

- 内蔵バッテリーパックと併用してお使いください。
- 別売バッテリーパック（品番：DY-DB75）の説明書もよくお読みください。
- 初めてご使用になる場合は、充電してからお使いください。

■取り付けるには

カチッと音がしたら取り付け完了です。確実に取り付けられていることを確認してください。

■充電するには（電源「切」時のみ）

AC アダプター（付属）を接続してください。（☞10 ページ）

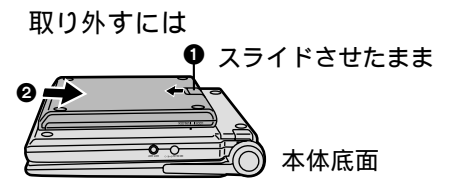
- **[CHG] ランプ**が消灯し、**[⏻] ランプ**が点灯すると充電完了です。
  AC アダプターと電源コードを取り外してください。

■充電時間と再生可能時間（単位：時間）

充電時間（温度 20 ℃）	画面の明るさレベル	再生時間		
		液晶画面「入」	液晶画面「切」	TV受信
約 10	−5	約 8	約 11.5	約 13
約 10	0	約 6.5	約 11.5	約 10
約 10	5	約 5	約 11.5	約 7

- 上記の時間は使用条件により異なります。
- 工場出荷時の明るさレベルは “ 5 ” です。
- 画面の明るさを変えるには（☞19 ページ）

■取り外すには

❶ スライドさせたまま
❷
本体底面

■ バッテリーパック残量の確認や長時間使用しないときは（☞11 ページ）

初期設定を変更する

設定方法

- 40～41ページの一覧表をご覧になり、必要であれば下記の操作で変更してください。
- 電源を切っても次に変更するまで保持されます。

1 リモコンの[**初期設定**]を押して
初期設定画面を表示する
- 停止中、[**MENU**]（**メニュー**）を押しても表示します。

2 **カーソルつまみ[◄、►]**で
設定したいタブを選ぶ
倒すたびに切り換わります。

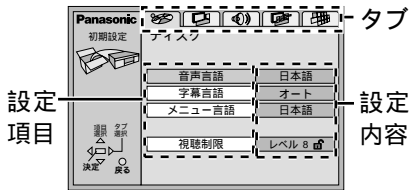
3 **カーソルつまみ**で
設定項目を選び、[ENTER]を押す
設定内容画面が表示されます。

4 **カーソルつまみ**で
設定内容を選び、［ENTER］を押す
手順 2 の画面に戻ります。

■ひとつ前の画面に戻るには

[**RETURN**]（**リターン**）を押す

■設定を終了するには

[**初期設定**］を押す

視聴制限

DVD-V

お子さまなどに見せたくない DVD ビデオがそのまま再生されないように設定できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
レベル 0 ～ 7 を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

1 **数字ボタン**で暗証番号（4 ケタ）を入力する
- 間違った数字を入力したときはリモコンの［**取消し**］を押してください。

暗証番号は忘れないでください。

2［**ENTER**］を押す

3 もう一度、［**ENTER**］を押す
（暗証番号が確定し、ロックがかかります。）

設定した視聴制限レベルを超えた DVD ビデオを再生すると、メッセージが画面に表示されます。そのときは画面の指示に従ってください。

制限内容を変更するには

初期設定画面で“ 視聴制限 ”を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

1 **数字ボタン**で暗証番号（4 ケタ）を入力し、［**ENTER**］を押す
ロック解除： 解除してレベル 8 に戻す
暗証番号変更：暗証番号を変更する
レベル変更： 制限レベルを変更する
一時解除※**：** 一時的に制限レベルを解除する

※ 電源を切るかふたを開けるまで一時解除の状態が続きます。

2 **カーソルつまみ**で項目を選び、［**ENTER**］を押す

初期設定を変更する（つづき）

初期設定一覧表

設定方法については、39ページをご覧ください。日本語 のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	設定項目	設定内容
ディスク （☞42ページ）	**音声言語** DVD-A DVD-V 言語（音声）が選べます。	● 日本語　● 英語 ● オリジナル※1　● その他＊＊＊＊※2
	字幕言語 DVD-A DVD-V 言語（字幕）が選べます。	● オート※3　● 日本語 ● 英語　● その他＊＊＊＊※2
	メニュー言語 DVD-A DVD-V メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● 英語 ● その他＊＊＊＊※2
	視聴制限 DVD-V 視聴が制限できます。（☞39ページ）	● レベル8　● レベル7～1 ● レベル0 - - - - - ● ロック解除　● 暗証番号変更 ● レベル変更　● 一時解除
映像	**TVアスペクト** お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。（☞35ページ）	● 4：3パン&スキャン ● 4：3レターボックス ● 16：9
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。（☞42ページ）	● オート　● フィールド ● フレーム
音声	**スピーカー設定** DVD-A DVD-V 接続したスピーカーシステムに合わせて設定します。スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を創ります。 （☞44、45ページ）	マルチチャンネル スピーカーを3本以上接続するとき （スピーカーの有無やサイズ、ディレイタイム、チャンネルバランスの設定も必要となります。） - - - - - 2チャンネル スピーカーを2本接続するときや、ドルビープロロジックデコーダーに接続するとき
	PCMダウンサンプリング変換 DVD-A DVD-V 接続に応じて著作権保護処理のされていないディスクの音声信号の出力方法が選べます。 （☞43ページ）	● しない　● する

メニュー項目	設定項目	設定内容
音声	**Dolby Digital** DVD-A DVD-V 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM 2ch）に処理して出力するかが選べます。（☞43 ページ）	● Bitstream　● PCM
	DTS Digital Surround DVD-A DVD-V 上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対して行えます。（☞43 ページ）	● PCM　● Bitstream
	音声のダイナミックレンジ圧縮 RAM DVD-A DVD-V （ドルビーデジタルのみ） 小音量でも映画のセリフを聞き取りやすくします。	● 切　● 入
	早送り時の音声 RAM DVD-A DVD-V VCD 早送り時、音声が聞こえるようにする/しないが選べます。 （☞42 ページ）	● あり　● なし
画面表示	**画面メニュー言語** 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● English（英語）
	画面メッセージ 操作時にテレビ画面にメッセージを表示する/しないが選べます。	● 入　● 切
その他	**DVD ビデオモード** DVD オーディオに含まれる DVD ビデオコンテンツを再生する/しないが選べます。（☞42 ページ）	● しない　● する
	デモモード 「する」を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。（デモは、本体の **[MONITOR]**、**[BRIGHT]**、**[COLOUR]**以外のボタンを押しても停止し、設定は「しない」に戻ります。）	● しない　● する

■ 音声言語/字幕言語/メニュー言語について

※ **1“ オリジナル ”：**ディスクの最優先言語が選ばれます。

※ **2“ その他＊＊＊＊ ”：**数字ボタンで言語番号（☞29 ページ）を入力します。

※ **3“ オート ”：** “ 音声言語 ” で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

- ディスクによっては、ディスク内で決められている言語でしか再生できないものもあります。

■ 視聴制限について

レベル 8 ：すべての DVD ビデオが再生可。

レベル 7 ～ 1 ：制限レベルが設定されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）は、レベルに応じて再生が不可。

レベル 0 ：すべての DVD ビデオの再生が不可。

- 制限レベルが記録されていない DVD ビデオの再生を制限するときは、“ レベル 0 ” を選んでください。

■ スチルモードについて

オート: フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える。

フィールド: 「オート」設定時に、画像のブレが発生するときに選ぶ。

フレーム: 「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄が見えにくいときに選ぶ。

■ 早送り時の音声について

DVD オーディオのディスクには、設定を「なし」にしても音声が聞こえるものがあります。

■ DVD ビデオモードについて

しない: DVD オーディオをそのまま再生するとき

する: DVD オーディオに含まれる DVD ビデオコンテンツを再生するとき

- ディスクを取り出したり、電源を切ると “ しない ” に戻ります。

デジタル出力の設定

DVD-A DVD-V

本体をデジタル機器と接続するときに設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

接続した機器に合わせて、著作権保護処理のされていないディスクの高音質信号（サンプリング周波数 96 kHz または 88.2 kHz）の出力方法を選びます。

接続機器（88.2 kHz 以上の信号への対応）	設定	音声出力
対応している	しない※	そのまま出力
対応していない	する	48 kHz または 44.1 kHz にダウンして出力

※ 接続機器が 88.2 kHz 以上の信号に対応していない場合、“しない”に設定すると、88.2 kHz 以上の音声は出力されません。

お知らせ

- サンプリング周波数 96 kHz 対応の機種でも 88.2 kHz には対応していないものがあります。機器に付属の説明書などもご覧ください。
- 176.4 kHz 以上の信号や、著作権保護処理がされているディスクの高音質信号は、上記の設定に関係なく、48 kHz または 44.1 kHz にダウンして出力されます。

Dolby Digital

- **Bitstream（工場出荷時）**
  ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続したとき
- **PCM**
  ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続したとき

DTS Digital Surround

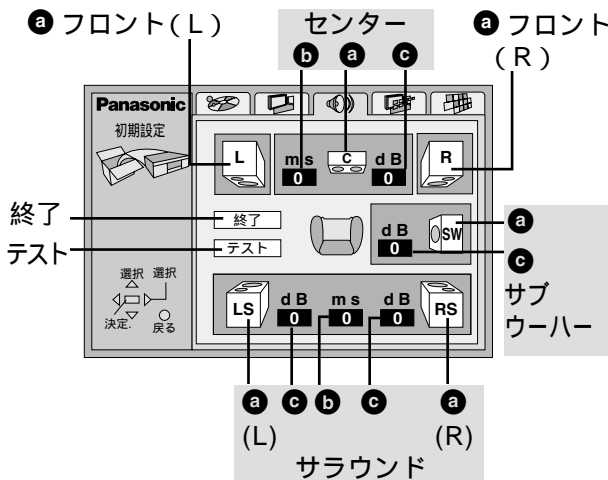
- **PCM（工場出荷時）**
  DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続したとき
- **Bitstream**
  DTS デコーダー内蔵の機器と接続したとき

デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず“Dolby Digital”と“DTS Digital Surround”を“PCM”に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD などに正しく録音できません。

スピーカー設定

DVD-A DVD-V

初期設定で “ マルチチャンネル ”（スピーカーを 3 本以上接続）を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下の ⓐⓑⓒ の設定が必要になります。

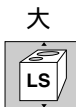
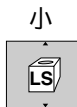
設定画面

■スピーカーの有無とサイズ（ⓐ）

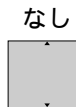
工場出荷時のスピーカーサイズ

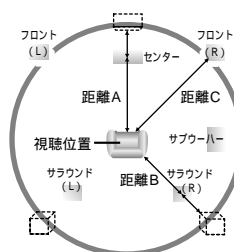
フロント（L/R）：大
センター／サラウンド（L/R）：大
サブウーハー：あり

1 カーソルつまみでスピーカーの種類を選び、**[ENTER]**を押す

2 カーソルつまみでスピーカーの有無とサイズを変更し、**[ENTER]**を押す

＜サラウンド（L）の場合の表示例＞

大：100 Hz 以下が再生できる

小：100 Hz 以下が再生できない

■ディレイタイム（ⓑ）

（ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオのセンター／サラウンドチャンネルのみ）

スピーカー（サブウーハーは除く）を左記のように同一円上に置けない場合、音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。

1 **カーソルつまみ**で項目を選び**[ENTER]**を押す
2 **カーソルつまみ**で設定値（下記）を変更し、**[ENTER]**を押す

● **設定値**

距離A/距離B ≧ 距離C ： 0 ms　　　距離A/距離B ＜ 距離C ：下記の設定を行う

<センター>

距離の差	設定値
約50 cm	1.3 ms
約100 cm	2.6 ms
約150 cm	3.9 ms
約200 cm	5.3 ms

<サラウンド>

距離の差	設定値
約200 cm	5.3 ms
約400 cm	10.6 ms
約600 cm	15.9 ms

■チャンネルバランス（ⓒ）

センター、サラウンドがフロントと同じ音量で聞こえるように調節してください。

1 **カーソルつまみ**で“テスト”を選び**[ENTER]**を押す
「ザー」というテスト音がフロント（L）から時計周りに出力されます。

2 センター/サラウンド(L/R）の音量を**カーソルつまみ**で調節する（－ 3 dB ～＋ 3 dB）
● フロントの音量調節はできません。

3 **[ENTER]**を押す（テスト音が止まります。）
● サブウーハーからはテスト音が出力されません。
ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

■ 設定を終了するには

カーソルつまみで“終了”を選び**[ENTER]**を押す

お知らせ

フロントのサイズはサブウーハーの有無で自動的に決まります。（サブウーハーを接続しない場合、100 Hz以下の低音を再生できるフロントを接続することをおすすめします。）

● DVDオーディオ再生時、ディスクやプレーヤー側の制約により設定通りに音が出ないことがあります。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2001年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。

品名	品番
ミニ・ピン ラインコード	RP-CAPM3G15（1.5 m）
光デジタルケーブル	RP-CA2105A（0.5 m）
	RP-CA2110A（1.0 m）
	RP-CA2120A（2.0 m）
ステレオヘッドホン	RP-HC100
	RP-HT870
	RP-HS50
ステレオインサイドホン	RP-HV570
バッテリーパック	DY-DB75
カー電源アダプター	DY-DC95
カーステレオ カセットアダプター	SH-CDM10A

品名	品番
S端子ミニコード	RP-CVSM0G15（1.5 m）
	RP-CVSM3G15（1.5 m）
AVアンプ	SU-DA10※
アクティブスピーカーシステム	RP-SP90
フロントスピーカー（L／R、2本1組）	SB-LV500
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー（L／R、2本1組）	SB-S500
アクティブサブウーハー	SB-AS30
内蔵バッテリーパック（サービスルート扱い）	VUADB95

※ SU-DA10は5.1ch音声入力端子とDolby Digital/DTS Digital Surroundデコーダーを装備しています。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

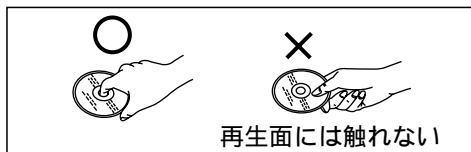
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。
「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。
著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。

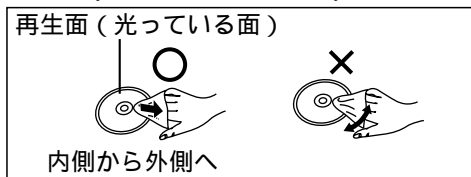
使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

■持ちかた

■汚れたときは

DVD オーディオ、DVD ビデオ
ビデオ CD、CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

推奨品: クリーニングクロス
(品番 VUA7091)
(サービスルート扱い)

DVD-RAM、DVD-R

- 必ず専用の **DVD-RAM/PD ディスククリーナー LF-K200DCJ1（別売）、RFKZ0093（サービスルート扱い）**でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布や CD 用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。DVD-RAM は、専用のクリーナー（上記）でふいてください。

■取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したディスクは使わない。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

故障防止のために

以下のことは避けてください。

- 強い衝撃、落下や雨にぬらす
- 揮発性の殺虫剤などをかける
- 液晶画面を強い力で押す
- ふた内部のレンズなど光ピックアップ部に触れる

以下のような場所で使用しないでください。

- 風呂場など湿気の多いところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 浜辺など砂の多いところ
- アンプなど高温になる機器の上や、座布団やソファーの上

お手入れ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- 液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをおすすめします。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

良い音でお楽しみいただくために

定期的にお手入れすることをおすすめします。

推奨品: レンズクリーナーキット
(品番 SZZP1038C)
(サービスルート扱い)

- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

用語解説

I/P/B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture：共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture：過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム

B-picture：I/P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調節をするときは、I-pictureで静止することをおすすめします。

MP3

MPEG1（エムペグ） Audio（オーディオ） Layer（レイヤー） 3（MP3）という音声圧縮方式は、元の音質をあまり損なうことなく音声を10分の1程度に圧縮できます。

本機で再生可能なMP3を作成するには

- 使用できるフォーマット: ISO9660 level 1及びlevel 2（拡張フォーマットを除く）
  ファイル名には必ず“.mp3”または“.MP3”の拡張子を付けてください。
- 好みの順に再生したいときは、ファイル名の先頭に再生したい順で数字を付けてください。ただし順番通りに再生できないこともあります。
- 本機は、マルチセッションに対応しています。セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。一秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

タイトル／チャプター（DVDビデオ）

DVDビデオのディスクを分ける、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）のことです。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

チャンネル

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。

例）5.1チャンネル

- フロントスピーカー［**L(1ch)/R(1ch)**］
- センタースピーカー（**1ch**）
- サラウンドスピーカー［**L(1ch)/R(1ch)**］
- サブウーハー［**1ch × 0.1 ※ = 0.1ch**］

※ 出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面では以下のように示されます。

3 ／ **2** **.1**

.1：サブウーハーあり（サブウーハーがない場合は、表示されません）

0：サラウンド信号なし
1：サラウンド信号（モノラル）あり
2：サラウンド信号（ステレオ）あり

1：センター
2：フロント（L/R）
3：センター＋フロント（L/R）

デコーダー

DVDなどに符号化して記録した音声データを、音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

DTS（Digital（デジタル） Theater（シアター） Systems（システム））

多くの映画館で採用されている5.1chのサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

トラック（DVD オーディオ/ビデオ CD/CD）

DVD オーディオやビデオ CD、CD は、いくつかの区切り（トラック）に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 チャンネル）はもちろん、最大 5.1ch の独立したサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、演算処理により、再び 4 チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）

音に広がりを与え、フロントスピーカー（L ／ R）やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。
サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

ビットストリーム

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって 5.1ch などのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

フレーム　　フィールド　　フィールド

=
+
- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
本書ではこのようなビデオ CD を「PBC 付きビデオ CD」と呼びます。また、メニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

プレイリスト

お好みのシーンを集めたリストです。連続再生したり、特定のシーンだけを再生することができます。

プログラム

DVD-RAM の区切り。本書では「番組」という表現もしています。

プログラムナビ

テレビ画面に表示される録画番組の内容一覧（リスト）から、お好みの番組を選んで見ることができます。録画日時、チャンネル、タイトル（タイトル入力したディスクのみ）が表示されます。選んだ番組はリストの背景に動画で再生されるため、簡単に確認できます。

リニア PCM（LPCM）

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CD では、44.1 kHz/16 bit で記録されているのに対し、DVD では 48 kHz/16 bit ～ 192 kHz/24 bit で記録されているので、CD よりも高音質の再生が可能です。
また、この信号を圧縮し、2ch ステレオ再生できるようにしたものをパック PCM（P.PCM）といいます。

主な仕様

電源	DC 9 V（DC IN 端子）／ DC 7.4 V（内蔵バッテリー端子）／ DC 7.2 V（外付けバッテリー端子）
消費電力	13 W（本体 10 W） 電源「スタンバイ」時 0.9 W ／充電時 15 W（付属の専用 AC アダプター使用時）
AC アダプター	電源：　100 〜 240 V、50 ／ 60 Hz 消費電力：　42 〜 53 VA　DC 出力：9 V、2 A

外形寸法（突起物を含まず）	幅 230 ×奥行 170 ×高さ 28※ mm（内蔵バッテリーパック含む） ※ 24.4 mm（先端最薄部）
質量	約 999 g（内蔵バッテリーパック含む）
内蔵バッテリーパック（リチウムイオン）	電圧：　7.4 V 容量：　2600 mAh
許容周囲温度	＋ 5 〜 35 ℃
許容相対湿度	10 〜 80 % RH（結露なきこと）
信号方式	NTSC
対応ディスク	● DVD-RAM（DVD-VR 規格対応のディスク） ● DVD-Video ● DVD-Audio ● 音楽用 CD（CD-DA） ● ビデオ CD ● CD-R/RW（CD-DA、ビデオ CD、MP3 フォーマットのディスク）
液晶画面	9 型 α − Si TFT ワイド液晶モニター
S 映像出力	Y 出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル： 0.286 Vp-p（75 Ω） 出力端子： ミニジャック 1 系統（映像出力/入力端子と兼用）
映像出力／入力	出力／入力レベル： 1 Vp-p（75 Ω） 出力／入力端子： ミニジャック 1 系統（入出力切換式）
音声出力／入力	出力／入力レベル： 1.5 Vrms（1 kHz、0 dB、10 kΩ） 出力／入力端子： ステレオミニジャック 5.1 ch ディスクリート出力 1 系統 ※ 2 ch（5.1ch ミックス）出力/入力端子 1 系統（入出力切換式）含む
音声出力特性	周波数特性： ● DVD（リニア音声）： 4 Hz 〜 22 kHz （48 kHz サンプリング） 4 Hz 〜 44 kHz （96 kHz サンプリング） ● DVD-Audio： 4 Hz 〜 88 kHz （192 kHz サンプリング） ● CD： 4 Hz 〜 20 kHz（JEITA） S ／ N 比： ● CD　115 dB（JEITA） ダイナミックレンジ： ● DVD（リニア音声）98 dB ● CD　97 dB（JEITA） 全高調波歪率： ● CD　0.008%（JEITA）
デジタル音声出力	出力端子： ミニ光コネクター 1 系統（音声 2 ch 出力／入力端子と兼用）
テレビ受信チャンネル	VHF:1 〜 12 ch UHF:13 〜 62 ch

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
使い方	**5.1ch サラウンド音声を楽しむには、どのような機器が必要か**	本機にはドルビーデジタル／DTS デコーダーが内蔵されていますので、AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と 6 本のスピーカーを準備していただくと 5.1ch サラウンド音声が楽しめます。	31、32
	海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。	—
	海外で買った DVD ビデオを再生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	9
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD ビデオ以外のディスクにはリージョン番号はありません。DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD ビデオは再生できません。	—
	機内で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。航空会社の指示に従ってください。	—
	車内で使えるか	別売りのカー電源アダプター（品番：**DY-DC95**）をお使いいただくと車のシガレットライターソケットから電源をとって使用することができます。故障の原因となりますので、この品番以外のものは使用しないでください。また、カー電源アダプターの説明書もよくお読みください。	37
	病院で使えるか	本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。	—
接続	**パソコンと接続できるか**	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのようにパソコンのモニターでディスクの再生をお楽しみいただけます。ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。	—

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
電源について	**電源が入らない**	接続を確認してください。絶縁シートを外しましたか？	10
		バッテリーの残量を確認してください。	11
		バッテリーパック単独使用時は、リモコンで電源を入れることができません。	ー
	勝手に電源が切れる	停止状態で放置するとACアダプター使用時は約15分で、バッテリーパック単独使用時は約5分で電源が切れます。**(オートパワーオフ)**電源を入れ直してください。	ー
		暑いまたは寒い場所で使用しています。	ー
バッテリーパックについて	**充電できない([CHG]ランプが点灯しない)**	電源が入っていると充電できません。	ー
		温かくなっているバッテリーパックは、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。バッテリーパックが冷えてから充電してください。	ー
		接続を確認してください。絶縁シートを外しましたか？	10
	バッテリーパックで使用できない	高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。常温下(5～35 ℃)で使用してください。	ー
操作について	**各ボタン操作ができない**	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	ー
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度「切」「入」してみてください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	ー
	[▶](再生)を押しても、再生が始まらない(またはすぐに停止する)	寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生する場合があります。(1～2時間放置してください。)	ー
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	9
		ディスクが汚れていませんか？	47
		ディスクを正しくセットしてください。	12
		記録済みのDVD-RAMディスクが入っていますか？	ー
	リモコンが働かない	電池の⊕⊖を確かめて正しく入れてください。	10
		電池が消耗している場合は、新しいものに交換してください。	10
		リモコンを本体に正しく向けて操作してください。	10

こんなときは		ここを確認／処置してください	参照ページ
操作について	音声／字幕言語が切り換えられない	一つしか言語が記録されていないディスクでは切り換えできません。	—
		音声／字幕切り換え操作では切り換えできなくても、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	—
	字幕が出ない	字幕の入っていない DVD では表示されません。	—
		字幕が“切”になっていませんか？	17
		A-B リピート再生の A 点、B 点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	—
	アングルを切り換えられない	複数のアングルが記録されていないディスクでは切り換えることができません。また、複数のアングルが特定の場面のみ記録されているディスクもあります。	—
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を工場出荷時に戻したい	以下の操作で、すべての設定を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の［❚❚］と［⏮］を押しながら、[▶、ON]を 3 秒以上押し続ける。 （画面の“オールクリア”が消えたことを確認し、電源を一度切ってください。）	—
音声について	雑音が聞こえる	本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機から携帯電話を離してください。	—
	本機のスピーカーから音声が出ない	液晶画面を閉じていませんか？	—
		[VOL]（音量）が「無音」になっていませんか？	12
		アクティブスピーカーやヘッドホンをつないでいませんか？	36
		接続、設定を確認してください。	31-34 36-38 43-45
	外部スピーカーから音声が出ない	接続した機器の入力切換は正しいですか？	—
	音声が出ないトラックがある	再生中のディスクが規格に違反している可能性があります。	—

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
音声について	音声の一部が聞こえない/音声がひずむ	接続したスピーカーに合わせて正しく設定していますか？	44
		V.S.S.が働いているときはステレオ音声（2チャンネル）でしか出力されません。アナログ接続で3本以上のスピーカーをつないでいるときはスピーカーV.S.S.／ヘッドホンV.S.S.を“切”にしてください。	16
		ディスクによっては音声がひずむことがあります。その場合は、V.S.S.を「切」にしてください。	16
		DVDオーディオには再生チャンネル数を指定し、2chへのダウンミックスを禁止しているものがあります。この場合、本体スピーカーからは一部の音声しか出力されません。このときトラック再生開始時、画面には“マルチチャンネル”と数秒間、点滅表示します。	—
映像について	液晶画面が暗い	明るさを調整してください。	19
	液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する	カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99％以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01％以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。	—
	早送り／早戻しをしたら、画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
	液晶画面に映像が映らない（外部機器から取り込んだ映像を含む）	接続を確認してください。	37
		入力切換は正しいですか？	—
		表示モードが“OFF”（映像なし）になっていませんか？	19
		接続先の機器の電源は入っていますか？	—
		消画スイッチが押されていませんか？	3
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	34
		テレビの電源は入っていますか？	—
		テレビの入力切換は正しいですか？	—
		初期設定「映像」の“TVアスペクト”は、正しく設定されていますか？	35
表示について	画面メッセージが出ない	初期設定「画面表示」の“画面メッセージ”を「入」にしてください。	41
	GUIバーが欠ける（または表示されない）	GUIバー表示中、カーソルつまみで右端の上下矢印アイコンを選び、位置を変えてください。	23

こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
画面のエラー表示について		
“規格違反のトラックです”と表示する	規格に違反したトラックを再生しています。 正常に再生できません。	ー
“ERROR □□”と表示する（□は数字）	**“ERROR 01”**：バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店にご相談ください。	ー
	“ERROR 02”：12 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。	11
	“ERROR 03”：暑いまたは寒い場所で充電しています。常温の場所で充電してください。	ー
“ディスクを確認してください”と表示する	ディスクが汚れています。	47
“H □□”と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。 （“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。） 電源を一度、「切」「入」してください。または、電源を切って AC アダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	ー

■処置をされても“ディスクを確認してください”、“H □□”と表示するときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」（☞56 ～ 57 ページ）に修理をご依頼ください。その場合、画面に表示される番号をお知らせください。（例 "H01"）

こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
ランプの点滅について		
[⏻]ランプがすばやく点滅する	本体に異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください。	ー
[⏻]ランプがゆっくり点滅する	電源が入った状態で、液晶画面が閉まっているか表示モードが“OFF”（映像なし）になっています。再生しないときは電源を切ってください。	19
[CHG]ランプがすばやく点滅する	バッテリーパックに異常が発生しました。電源を入れて画面のエラー表示（☞ 上記）をご確認ください。	ー
[CHG]ランプがゆっくり点滅する	電池残量が少なくなっています。（数分 ～10 分前後すると、電源が切れます。）	11

お知らせ

以下の現象が起こることがありますが、異常ではありません。

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社はポータブルDVD AUDIO／VIDEOプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

52～55ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターの電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)
0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、下記または次ページをご覧ください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**山形**	山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
山口 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

ご連絡いただきたい内容

品名	ポータブル DVD AUDIO ／ VIDEO プレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品番	DVD-LA95	故障の状況	できるだけ具体的に

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

ディスクのジャケット上のマークについて

下記は一例です。

<音声数>

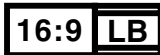
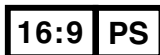
<字幕数>

<アングル数>

<記録されている音声の種類>

本機はドルビーデジタル／DTSデコーダーを内蔵していますので下記ロゴのついたディスクの再生が可能です。

<画面サイズ（横：縦の比）>

- ４：３の標準サイズ　4:3
- レターボックス※1　LB
- 16：９のワイドサイズ：標準サイズのテレビでは、レターボックスで再生される。　16:9 LB
- 16：９のワイドサイズ：標準サイズのテレビでは、パン＆スキャン※2で再生される。　16:9 PS

※1 ４：３で上下に黒帯が入った画面

※2 両側または片側の切れた画面

- 液晶画面に映し出される映像サイズは、表示モード（☞19ページ）によっても異なります。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のポータブルDVD AUDIO／VIDEOプレーヤーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-LA95
販売店名	☎（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ

〒571-8505 大阪府門真市松生町１番４号

RQT6056-S
F0701HT0